

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

926

国際化推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	5	国際交流の推進
施策	2	国際戦略の推進
取組方針	2	海外展開の促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		国際交流費	
	大事業		国際交流事業	
中事業		国際化推進事業		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	国際交流課 磯部 典宏 435-1010
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	姉妹・友好都市及び関係の深い都市等との交流実績の優位性を活用した経済交流を促進する。		国際戦略担当アドバイザーを活用し、市産品の販路拡大のため、姉妹都市等への物産・観光PRや、姉妹都市等交流のある都市での見本市への出展や商談会を実施する。			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		外務省主催の地方の魅力発信プロジェクト参加、姉妹都市等への物産・観光PR実施	・姉妹都市等への物産、観光PR実施 ・リッチモンド（カナダ）での商談会開催 ・国際戦略担当アドバイザーの活用	・姉妹都市等への物産、観光PR実施 ・リッチモンド（カナダ）での商談会開催 ・台湾での食品見本市への出展 ・国際戦略担当アドバイザーの活用	・姉妹都市等への物産、観光PR実施 ・台湾での食品見本市への出展 ・国際戦略専門員の活用	・姉妹都市等への物産、観光PR実施 ・リッチモンド（カナダ）での商談会開催 ・台湾での食品見本市への出展 ・国際戦略専門員の活用

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,333	2,997	5,180	5,593	4,885	2,014	2,672	0	2,672	0
伸び率（%）	0%	0%	55.4%	86.6%	△5.7%	△64%	△45.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	0	2,154	16,224	15,425	12,081	12,081	13,934	0	12,081
	正規職員以外	0	0	2,854	2,731	2,431	2,431	1,917	0	1,917
	小計	0	2,154	19,078	18,156	14,512	14,512	15,851	0	13,998
国庫支出金	1,572	935	2,543	1,276	4,017	541	769	0	769	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	11	0	11	0	11	0
一般財源（税等）	1,761	2,062	2,637	4,317	857	1,473	1,892	0	1,892	0
所要人数（人）	正規職員	0.00	0.27	2.03	1.93	1.50	1.50	1.73	0.00	1.50
	正規職員以外	0.00	0.00	1.15	1.15	1.08	1.08	0.84	0.00	0.84
主な予算内訳	外国出張旅費1,025千円 親善交際費508千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	姉妹都市等での物産・観光PRなどの回数	回	目標値	2	3	4	4	4
			実績値	2	3	4		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	姉妹・友好都市及び交流がある都市に輸出できた事業者数(累計)	社	目標値		1	3	3	4
			実績値		1	2		
			達成度(%)	0%	100%	66%	%	%
活動指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成29年度からの新規事業であり、市内事業者の海外輸出の販路拡大を図るため、コスト投入を現状維持し、徐々に成果が出るように事業を充実させていきたい。
見直し・改善内容	対象都市の検討や現地の情報の収集により対象商品を検討するなど各事業が効率的に実施できるよう計画性を高めて業務に取り組む。